

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マザーズ春江		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 1月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19名	(回答者数) 15名
○従業員評価実施期間	2025年 1月 18日		2025年 1月 25日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 14日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で情報共有が細かくされている。	朝礼終礼において共有し、各自が意見を出す時間がある。	言い出しやすい雰囲気構築のために職員間のコミュニケーションの充実を図る。 現状、口頭やBridge(連絡帳、記録アプリ)においての情報共有となっているが、朝礼終礼記録を活用し、さらに情報共有の強化を図る。
2	保護者への情報共有ができています。	引き渡し時に今日あった事、良かった事を伝えられている。 情報共有のために職員間の連携(口頭での伝達、メモ紙での伝達)ができています。	Bridge(連絡帳、記録アプリ)にて活動の様子写真を送ってはいるが、取り組んでいる様子をさらに送ると良い。また、外部情報発信ツール(マザーズ新聞、SNS、ブログ等)の周知をしていく。
3	マザーズメソッド(体系化されたプログラム)が充実している。	到達目標を意識し、来所する児童の特性も鑑みて内容を工夫している。 また委員会を定期的に開催し、内容のブラッシュアップをしている。	変わらず、PDCAサイクルを意識して、より良いものにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	教室内の環境。 (プレイルームの広さ、におい、掲示物等)	空気の通り道が少ない。	消臭剤の設置。消臭スプレーの散布。 定期的な換気は行っているが、頻度、開放時間の延長をする。 掲示物の最適化を行い集中できる環境を行う。
2	他事業所との地域交流不足	地域交流の機会の情報を積極的に収集していなかった。	地域の情報を集め、平日以外でも開所を検討し交流の機会を増やす。 地域に対しての働きかけ(訪問し交流の提案等)を積極的にし地域開拓を行う。 マザーズの周知も行う。
3	各種関係機関との連携不足	医療機関からの情報は保護者から頂けるが、保護者からの情報提供が少ない。	受診に対して保護者、相談員へのごちからからの働きかけがなかった。日頃の児童の様子も細かく伝えることは継続し、病院受診の結果も共有してもらうよう声掛けを行っていく。